

## 国際交流 もりおか

Morioka International Relations Association



【発行】公益財団法人盛岡国際交流協会 〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12番2号 盛岡市役所本庁舎別館7階  
 【TEL】019-626-7524 【FAX】019-622-6211 【URL】http://www.mira-morioka.com/ 【E-mail】info@mira-morioka.com

## ハイレベルなスピーチコンテスト！そして4回にわたる事前研修

令和元年度の渡航以来、4年ぶりの海外派遣が実現しました。平成5年度の第1回目が実施されてから今回で30回目となる中学生ビクトリア市研修のご報告をさせていただきます。

第30回の団員として選ばれたのは、盛岡市内の中学校5校から集まった3年生10人。7月末に開催したスピーチコンテスト出場が参加条件ですが、コンテストにはなんと56人もの応募があった中から、選考会を経て団員10人が決定しました。

9月から4回にわたる事前研修がスタート。事前研修では、現地ホストスクールで披露する全編英語のプレゼンテーションを作成しました。3チームに分かれて、中学校生活や、日本文化、盛岡の祭りや食など、発表する内容をチーム内で議論しながら決めたり、発表内容をより具体的に表現できる画像を選んでパソコンでデータ化したりと、メンバー間で行う共同作業は学校では経験できない貴重な機会です。団員たちは、初回からノ

持ち前の積極性ですぐに打ち解けて、海外研修出発までにすでにチームワークが完成していたように思います。

### 友好協会ビル会長&リタ夫人と“友情の鐘”にて



## 第30回中学生ビクトリア市研修

事前研修日程①9月2日 ②9月23日 ③9月30日 ④10月21日



10月28日～11月5日(9日間)

## ビクトリア市訪問



美しい夜の州議事堂



ドキドキの英語プレゼンテーション！



歴史ある赤い壁の市庁舎



ビルさん  
お世話になりました！

## 4年ぶりに姉妹都市ビクトリア市へ！

ビクトリア盛岡友好協会の会長、ビルさんとリタ夫人、ハージさんご一家。ホテルでの心温まる歓迎を受け、美しい夜景が広がるビクトリアの街並みに心を奪われる研修団員からは、「何もかもが素敵だ」という感想を聞くことができました。ビクトリアで過ごす1日目は、繁華街のあるインナーハーバーや代表的な観光地であるブッチャートガーデンを巡り、盛岡との姉妹都市交流に由来のある、友情の鐘、東屋、クロックタワー、そして新渡戸稲造博士が最後を迎えた病院の中庭にある二トノ

ベガーデンを見学しました。ここはビルさんをはじめとする友好協会が中心となって完成した庭園です。

滞在中は、ホームステイをしながら学校体験や、ビクトリア市役所にてマリアンヌ・アルト市長の表敬も行いました。中学生にとっては、初めて体験する海外、そして英語圏での生活のすべてが新鮮で、五感で経験したこと全部が、刺激的で忘れられない思い出となりました。



風光明媚なブッチャートガーデン



アルト市長に団員代表あいさつ



二トベガーデンにて

# EVENT REPORT

今年度下半期に開催した盛岡国際交流協会のイベントをご紹介します

## 第30回中学生ビクトリア市研修－報告会 2023年12月2日

中学生ビクトリア市研修の締めくくりとして、報告会を実施しました。現地で発表した英語プレゼンテーションを始め、3チームそれぞれの研修成果をプレゼンテーションで発表、個人発表も行いました。出発前に比べると英語が上達しており、保護者の皆さんにも好評でした。

団員全員が研修を通して、より姉妹都市や異文化交流に興味を持ってくれたのが大きな成果でした。



V市研修を経て一段と成長した中学生たち

## 生活オリエンテーション 2023年11月22日

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校、日本語学科の生徒の皆さんを対象に、ゴミの出し方や分別方法について説明を行いました。

ネパール、バングラデシュ、ミャンマーなど様々な文化的背景を持つ皆さんでしたが、クイズ形式の講座を行ったり、実際にゴミの分別体験をしてもらうことで、盛岡市のゴミ出しに対する理解をより深めることができました。

このゴミは可燃？不燃？資源？



ゴミの分別体験中！

## 防災訓練@きたぎんボールパーク 2023年11月18日

「盛岡市総合防災訓練」に協会災害ボランティア2名、職員2名が参加しました。外国人避難者受付対応訓練として、ボランティアと避難者役の職員が英語でやり取りしたり、翻訳アプリ「ボイストラ」を使いながら安否情報を確認する訓練を行いました。災害はいつ起こるか分かりません。日頃の備えや定期的な訓練が大切です。

1月1日、能登地方で大きな地震が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。



## 2023ワン・ワールド・フェスタ in いわて 2023年11月12日

岩手県国際交流協会主催の「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」がアイーナで開催されました。盛岡国際交流協会は、主に姉妹都市のカナダビクトリア市、友好都市の台湾花蓮市を紹介するブースを出展しました。

盛岡市とビクトリア市が姉妹都市であること、また、締結のきっかけが新渡戸稲造博士であることは、広く市民の皆さんに知られているようでした。今後も様々な活動を通じて、都市間交流の啓発普及に努めていきたいと思っております！



盛岡国際交流協会ブース

## 災害時多言語サポート基礎研修&訓練

岩手県国際交流協会との共催で、災害時多言語サポート基礎研修(1/21)、訓練(2/9)を実施しました。

「災害時多言語サポート基礎研修&訓練」とは、災害発生時に外国人をサポートする人のための研修と訓練です。越野修三先生、松岡洋子先生、クインリン・フェリス先生から教えていただいたことをポイントをしぼってお伝えします！

### 【1/21 基礎研修@上田公民館】

越野先生  
講義のポイント

危機とはどんな状況なのかを知り、**平時からイメージ**しておき、対処法を準備してその訓練を行うことが重要である。



松岡先生  
講義のポイント

- 今は**外国人**が身の周りにいて**当たり前**である。
- 英語が通じない外国人も実は多い。**やさしい日本語**、**ジェスチャー**や**ピクトグラム**といった非言語対応などコミュニケーション手段を多元化することが役立つ。



### 【2/9 訓練@上田公民館】

訓練後の  
フィードバック

- **上田公民館**が災害時の**外国人避難所**と知らなかったのが今回知ることができ良かった。
- 避難所が**どういう場所**であるかの説明があると安心する。
- (越野先生から) **自分が外国で被災した立場**だったと考えることが大事。

フェリス先生  
講義のポイント

(外国人に対する)聞き取りの際に**メモを取ったり繰り返したり**することで、意図を理解していることを伝えられ**安心感**を与えられる。



### 役立つツールの紹介

VoiceTra

31言語対応の  
翻訳アプリ



NHK World-Japan

21言語での  
ニュース、情報



Safety Tips

15言語での災害  
情報、警報通知



# 日本文化体験講座 まきずしを巻いてみよう！



和食のプロの指導の下、7か国18名の参加者が、まきずしを巻きながら、交流を図るイベントを開催しました！（2024年1月13日@中央公民館）

## 1 先生のお手本を見る



市内で寿司店を運営されている吉津英文先生

先生の説明と手本を見る参加者の目つきは真剣そのもの！メモをとる人、ビデオを撮る人、様々でした。日本語初級の参加者のために、英語や、やさしい日本語を挟みながら進行了しました。

## 2 自分たちで作ってみる

バングラデシュとベトナムの学生



外国人参加者の大部分が、「巻きす」を使うのも初めてなら、干瓢やおぼろ（桜でんぶ）を見るのも初めて！でも臆することなく、同じ調理台の仲間と協力しながら、先生も驚くほどの出来栄のまきずしを仕上げていました。

## 3 一緒に食べる

調理室から眺めの良い和室に移動し、みんなでまきずしをいただきました。仲間と協力して巻いたまきずしの味は格別！

今回は、食材に制限がある参加者でも食べられる具材を使用しました。



小学生も1名参加してくれました！

## 4 交流する

みなさんどこから日本にきましたか？



食後はお茶とお菓子をつまみながらのおしゃべりタイム。世界地図で自分の出身国を指しながら、「私の国はマイナス20度」、「私の国は今30度、気温差50度ですね！」などの会話が聞こえてきました。

## 寄稿：日本文化体験講座に参加して



岩手大学理工学研究科  
博士課程  
Enkhmend Bekhbaatar さん  
(エンクメンドさん)  
モンゴル出身

私は2023年10月に日本にきました。来日後、日本食がとても好きになり、今は新しい味との出会いを楽しんでいます。今回のまきずしのイベントは大学を通じて知り、日本食の作り方を学びたいと思って参加しました。

イベント会場に到着した時は、日本語がわからないので少し緊張しました。でも、周りの皆がとても親切で、通訳までしてくれました。説明もわかりやすかったので、日本語の知識がなくても理解することができました。このイベントでは、単に食べるだけでなく、まきずしやお吸い物づくりを実際に体験することができ、後で自宅でも作るができるように、食材の選び方まで教えてもらえました。更に、春の行事である「節分」に、まきずし（恵方巻）を食べる意味なども学ぶことができました。

日本文化や伝統料理を紹介してもらう機会が得られて本当に良かったです。参加者の日本人や外国人との協力しながらの調理、素晴らしい眺めの日本様式の場所（中央公民館の和室）での食事、そしてそれぞれの国についてのおしゃべりなど、どれもとても楽しかったです。日本や他の国について、これまで知らなかったことを知ることもできました。

外国人に日本文化や独特の伝統に慣れ親しんでもらうことを目的としたこのようなイベントが開催されるのは、本当に嬉しいことです。このようなイベントがこれからも多数開催されることを願っています。今回のイベントは素晴らしい体験となり、故郷に帰っても忘れられない素敵な思い出の一つになりました。

※原文英語、盛岡国際交流協会が日本語訳



岩手県立大学盛岡短期大学部  
国際文化学科1年  
古館菜々香さん

私は、今回の「まきずしを巻いてみよう！」のイベントに参加して、より一層多文化共生に興味を持ちました。また、地元である盛岡でも今回のような国際交流のイベントがあることを初めて知りました。私は、現在岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科に所属しています。このイベントに参加したきっかけは学校で履修している「多文化共生論」という授業を通して、多文化共生について勉強をしていく中で、国際交流ができるイベントがないか探していた際にこのイベントを見つけたため、参加しました。

今回のイベントでは、普段交流することのできない外国人の方とまきずしづくりを通して交流を深めることができ、とても貴重な体験となりました。外国人の方が積極的に日本文化について学ぼうとしていたり、日本人の参加者が積極的に外国人の方とコミュニケーションをとっていたりと、国に関係なく、お互いの文化を理解し、交流することができていて、とても良いなと心から思いました。このようなイベントは、私たち日本人にとっても外国人の方にとってもお互いについて学べる良い機会になったと思います。これからもこのようなイベントにぜひ参加したいと思いました。この度はありがとうございました。



## 「盛岡での留学生生活を振り返って」 寄稿：岩手大学 封雪梅さん (2019年9月来盛 2024年1月帰国)

神子田朝市にて



私の名前は封雪梅（中国語の読み方：フォン・シュエメイ）です。中国河北省の出身です。私は2019年9月から岩手大学理工学研究科博士課程で学び、今年2024年1月に、4年4カ月に渡る盛岡での生活を終えて、中国に帰国しました。

山々に囲まれた、とても清潔で静かなまち一盛岡。

盛岡のまちには青い空と白い雲、清潔な街並みと澄んだ空気があります。盛岡での4年4カ月に渡る生活で、特に印象深いのは、空気がとてもきれいなことです。そのためかどうかは分かりませんが、私は盛岡で一度も風邪をひきませんでした！

また私は盛岡で、人と自然の調和のとれた暮らしを体験しました。公園を散歩していると、湖の白鳥やカモが岸辺に上がり、自ら私の方に近寄って来るがありました。また時には、道を横切る鹿を見かけることもありました。ここでは、人間と動物が一つの場所を共有しており、人間は動物の生活空間を尊重しているように思います。また、動物も人間に対し、親しみを持っていると感じました。

私は盛岡の川もとても好きです。市内を流れる3つの大きな川は、盛岡のまちに活気をもたらししていると思います。透明な川の水と、ゴーっという川の音は、まるで盛岡のまちの歴史を私たちに語りかけているように感じられます。川の流れを見ていると、私はいつも孔子の言葉を思い出します。

「移りゆくものはこの（川の流れ）ようである。昼も夜もとどまることがない。」

盛岡には外国人にサービスを提供してくれる団体があり、それらが主催する講座やイベントに参加し、日本人や他の異なる地域の人々と交流できたことで、私の盛岡での生活はより充実したものになりました。

中国帰国後も、盛岡に対してとても親しみを感じることに変わりはありません。盛岡というまちは、私の成長を見守ってくれた場所であり、私の人生の記憶の一片となっているからです。「盛岡」という言葉を見聞きするたびに、私は自分がいつも食べていたじゃじゃ麺と、盛岡で得た友人やお世話になった先生のことを思い出します。

「盛岡のまち、みなさん、謝謝！」

## 3 数字で見る盛岡の外国人市民 あなたは何問分かりますか？ 6

Q1.盛岡在住の外国人市民の人数は？

1963人  
(2023年12月末時点)

コロナ禍は一時減少傾向でしたが、規制緩和後は一転増加傾向が続き、2023年10月には初めて1900人台を突破しました。

Q2.何ヶ国・地域から来ている？

51の国と地域  
(2023年12月末時点)

世界の51の国と地域から、盛岡に来て生活している人たちがいます！

ナマステ！

ネパール語で「こんにちは」



Q3.2023年の1年間で、最も人数が増えたのはどこの国？

ネパール  
42人増加！

ネパール国籍の盛岡市民は、1年前の2022年12月末時点で133人、現在175人まで増えました。その多くが専門学校で学ぶ学生です。

## お知らせ

盛岡国際交流協会では賛助会員、ボランティアを随時募集しています！

### 賛助会員

<年会費>

- 個人会員：一口 ¥1,000
- 団体会員：一口 ¥10,000



<会員特典>

- 機関紙「国際交流もりおか」を年2回お届けします。
- 協会主催のイベント案内イベント優先申込・参加費の割引が受けられます。

### ボランティア

- 翻訳ボランティア
- 災害ボランティア
- 文化紹介ボランティア
- 外国語講座ボランティア
- ホームステイ・ホームビジットボランティア



賛助会員・ボランティアにご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください😊

☎019-626-7524

✉info@mira-morioka.com



ホームページ

インスタグラム

フェイスブック